

スーパードッジボールとドッジボールのルールの相違点

ケース		ドッジボール	スーパードッジボール
試合開始時 内外野配置		自由	内野4名、外野3名、7名未満の時は内野を埋める
パス		内野同士、外野同士のパスはファール	制限はない カウントは行う
パスの回数		4回まで、ただしアタックの時点でクリア	3回まで、
しゃがんでいる選手の上を通った		選手が立った状態でアタックエリア内と判断された時は パスカウントクリア	パス1回とカウント
ボールが外野の外へ	外野の手首より先に触れて出た	最後に触れた外野チームのボール。	場所に関係なく最後に触れた子の相手チームのボールで内野から
		場所に関係なく最後に触れた子の相手チームのボールで内野から	
相手エリアのボール	転がっている	相手エリアのボールはさわれない	足がラインを超えない限り、とつてもかまわない
	空中のボール	足がラインを超えない限り、とつてもかまわない	
アウト(ヒット)時		試合は止まらない、ボールのころがり具合では、攻撃が変わらない時がある	試合を止め、ハチマキを審判が預かり、ヒットされたチームの内野ボールから
複数ヒット(アウト)		最初のひとりのみ	床に落ちるまでに当たった人はすべてヒット
勝敗		終了時の内野にいる人数	終了時のハチマキをしている人数
アウト(ヒット)した選手の移動		ヒットしたときは、速やかに(審判の横に行き)内野移動の意思表示をして内野にいける(相手エリアを通らないこと)	ヒットしても内野には入れない
試合再開時 (ボール場外、ファールで止まった時)		ボールを頭上に掲げ、審判の笛を待つ。	笛を合図で投げる
ヒットされた選手がそのボールに触れた時		ファール、外野に出るまでボールには触れない	ヒット時点で試合が止まっているので影響はなし